

まちの ニュース



華やかな山車を引いて地域を練り歩きました

祭りだワッショイ！八坂神社で例大祭

西根地区の八坂神社例大祭は7月15日、同神社の境内を主会場に開催され、多くの人でにぎわいました。

13日には、神社の境内で大更小学校の児童による奉納相撲を開催。個人戦や団体戦が行われ、児童の熱戦に声援が送られました。

翌14日は、例大祭の前夜祭として第19回大更ガーデンフェスティバルがフーガの広



ガーデンフェスティバルで演奏を披露する大更小学校吹奏楽部

場を会場に行われました。ステージでは園児のお遊戯や吹奏楽演奏が披露され、訪れた人たちを楽しませました。夜には盆踊り大会なども開かれ、たくさんの方が踊りの輪に参加しました。

15日はいよいよ例大祭の開催です。神社の境内には所狭しと出店が並び、親子連れやカップルなど多数の人が詰め掛け、神楽や相撲大会、カラオケなどで会場は大いに盛り上がりしました。また、勇壮な掛け声とともにみこしや山車が地域を練り歩き、祭りに花を添えました。

訪れた人たちは心行くまで祭りを楽しみました。

豊かな環境を支える安代浄化センター

豊かな水環境を保全する市安代浄化センターの通水式は6月27日、安代地区小柳田の同センターで、市や県の関係者など約60人が出席して行われました。

や市の関係者などによるテープカットで開通を祝い、田村市長が通水を宣言しました。同センターは、特定環境保全公下水道事業で整備される約53ヘクタールの地域が対象。鉄筋2階建て、地下1階で延べ床面積815平方メートル。処理能力は1日7000トンの延長13.8キロの管路と合わせた総事業費は19億8900万円です。



↑県や市の関係者などでテープカットを行いました

←説明を受けながら設備を見学する田村市長

夏の涼しい八幡平でラグビーの祭典を

第15回ラグビーフェスタ2007 IN HACHIMANTAは7月14、15の両日、松尾陸上競技場と上寄木グラウンドで開催されました。初日には、模範試合として関東の強豪、タマリバクラブと釜石シーウェイブスの交流戦が行われました。翌日には、東北地区のチームや強豪高校の試合、35歳以上のチームによるマスターズ大会などが行われ、ラグビーを楽しみながら交流を深めました。



早いパスと強力な攻撃でタマリバを圧倒する釜石

気軽に「ふらっと」寄ってくださーい



多数の来賓が駆け付けて開所を祝いました

障害がある人の自立支援や地域住民との交流の場として市地域活動支援センター「ふらっと」は7月19日、西根地区大更に開所しました。

福祉作業所の製品や野菜、花などの地場産品を販売するほか、障害がある人と地域住民の趣味創作活動や利用者同士の交流拠点として活動を支援します。同センターは、平日の午前10時から午後4時まで開館。詳しくは同センター（☎75-1167）まで。

渋川小学校に通う児童が、

放課後に安心して遊びや勉強などをして過ごすための場として提供される渋川学童保育クラブは7月24日、渋川小学校すずらんルームに開設されました。

同クラブの開設により、市内の全小中学校に学童保育クラブが設置され、放課後児童育成事業の推進が図られます。児童は「みんなと楽しく過ごす場所ができてよかった」と喜んでいました。

市内の全小中学校に学童保育クラブ開設



放課後をみんなで仲良く遊びや勉強をして過ごします



かわいらしいお遊戯を披露する松野保育所の園児

五穀豊穡や家内安全を祈願する長嶺神社の祭典は7月14日、長者屋敷跡にある同神社の境内などで行われました。会場内にある相撲場では、松尾地区のスポーツ少年団員などが参加して奉納相撲を開催。個人戦と団体戦を行い、小さな体で元気いっぱい、好取組を見せ、場内は大いに盛り上がりました。

松野保育所の園児がお遊戯などを披露し、訪れた人を楽しませました。

豊作や家内安全を祈って長嶺神社祭典

縄文様と炎が織り成す土器作りに挑戦

安代地区の少年少女教室「チャレンジしよう縄文土器作り」は7月21日、五日市公民館で開催されました。

地域の子どもや保護者など、約20人が参加。自分の手で粘土をこね、ひも状に伸ばして思い思いの形を作成。器の形を整えて縄や棒、貝がらなどで模様をつけました。

作品は10月ごろまで自然乾燥し、焼き上げて土器に仕上がります。参加者は完成を待ちきれない様子でした。



粘土を積み重ねて土器の形を作る参加者

正確かつ迅速な初期消火技術で優勝に



てんぷら鍋の部で優勝した松尾地区隊の皆さん

盛岡地区広域消防事務組合消防本部主催の第23回初期消火技術コンクールは6月30日、矢巾町の県消防学校で開催されました。

大会には、市婦人消防協力隊から西根、松尾、安代の3地区隊が出場。てんぷら鍋と三角バケツの2部門で技術を競いました。

てんぷら鍋の部で松尾地区隊（小原ふく子さん、佐々木洋子さん）が練習の成果を発揮し、優勝に輝きました。

自殺予防を呼び掛ける岩手県の自殺防止キャラバン隊は7月10日、市役所を訪れて啓発活動を行いました。

小林繁春県保健福祉部傷害保健福祉課総括課長から田村正彦市長へ、自殺防止に取り組む達増拓也知事からのメッセージを手渡し、意見交換などを行いました。

岩手県は秋田県に次ぐ全国2位の自殺率。県や市町村、関係機関などが連携して、予防に取り組んでいます。

自殺を防ぐ地域づくりへ向け啓発活動



田村市長に知事のメッセージを手渡しました



手作りの山車で地域を練り歩きました

白坂観音大祭は7月17日、寺田地区の聖福寺の境内を会場に開催されました。

祭りは寺田小学校の児童による鼓笛隊のパレードで、にぎやかに開幕。寺田保育所の園児によるお遊戯や泣き相撲大会などが行われました。

また、寺田青年部が地域にゆかりの寺田城主・北愛一（きたあいち）をデザインした手作りの山車とともに、さんさ踊りやみこしなどが地域を練り歩き、大いに祭りを盛り上げました。

住民の手作りで盛り上げる寺田の祭り

外来植物駆除のクリーンキャンペーン

八幡平の貴重な高山植物と美しい自然環境を守ろうと、八幡平クリーンキャンペーンは7月13日、見返峠駐車場周辺で実施されました。

松尾中学校の自然愛護少年団員と一般のボランティアなど約250人が参加。アス

ピーテライン、樹海ライン沿いの国立公園特別保護地区で、セイヨウタンポポやフランスギクなどの外来植物を駆除しました。

八幡平では環境整備や交通網の発達などにより外来種が増加し、在来種の植生が損なわ

れる心配があり、こうした活動が続けられています。



↑道路沿線を歩きながら外来植物を探し、一本ずつ手作業で駆除する松尾中学校の生徒

←外来植物の見分け方を教わりながら作業を行いました

安代地区田山の各集落の神社が開催日を合わせて祭典を

開く田山統一祭典は7月14、15の両日、各神社などを会場に行われました。

この祭りは五穀豊穡や家内安全を願う田山稲荷、八幡、川稲荷、八坂、根渡など田山地区内の神社でそれぞれ開催。郷土芸能の先祓い^{さきはらい}を先導に、みこし行列が集落内を練り歩きました。

折壁地域・八幡神社の祭典では、3歳から社会人まで、幅広い年代の子どもや若者たち



伝統ある先祓いを見事に舞い、次の世代を担う子どもたちへと伝承しています

田山地区の伝統芸能・先祓いの装束や舞は集落ごとに異なり、地域の人たちが長年にわたって継承してきました。この先祓いを次の世代に伝えていくと各集落の保存会が中心となり、活動が続けられています。

が、この日のために練習してきた先祓いを見事に披露。社会人や中高生は力強く華やかに、小学生や園児はかわいらしく、それぞれの持ち味を発揮して伝統の祭りに花を添えました。



踊りながらみこし行列を先導する子どもたち

地域が一体となり伝承の舞を華やかに